

## 祝 辞

島根県教育委員会教育長 野津建二

第55回全日本聾教育研究大会島根大会が、島根県立松江ろう学校を会場として、Web開催されますことに心からお喜び申し上げます。

本研究大会に参加される皆様におかれましては、日頃から聴覚障がい教育の充実、聴覚障がい理解・啓発の推進に御尽力いただいておりますことに深く感謝申し上げます。また、全日本聾教育研究会におかれましては、長年にわたり、聴覚障がい教育の振興・充実に寄与され、多大な業績をあげてこられましたことに、深く敬意を表す次第です。

さて、島根県教育委員会では、令和3年2月に、今後10年間を見通した「しまね特別支援教育魅力化ビジョン」を策定いたしました。このビジョンに基づき、障がいのある子どもたちが、なりたい自分や、やりたい夢を抱き、自分を信じ、他者を信頼し、社会に向かう勇気を持ち、持てる力を十分に発揮していけるよう、「生きる力」を育む魅力ある教育を推進してまいります。

松江ろう学校においても、「地域とともにある学校」を目指し、地域の方を対象とした「手話学習会」や公民館での「出前手話講座」、「手話カフェ」を生徒が企画、運営して主体的に取り組むなど、地域と連携・協働して、特色ある教育活動を展開し、ろう学校の魅力化・発信力の向上に取り組んでおります。

このような中、本研究大会は、「子どもたちが自分らしく主体的に生きる姿を目指して」を主題に掲げ、オンデマンド配信による記念講演や研究発表、ライブ配信による授業研究分科会が開催される貴重な機会となります。本研究大会をとおして、実りある活発な研究協議が行われ、聴覚障がい教育のさらなる充実、専門性の向上につながることを期待いたします。

結びに、本研究大会の開催にあたり御尽力いただきました関係者の皆様に深く感謝を申し上げますとともに、本研究会の益々の御発展と皆様の御健勝を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。